

■ 教育目的

5年次に行われる病院実務実習・薬局実務実習に先立って、大学内で調剤、無菌操作、服薬指導などの薬剤師職務に必要な基本的知識、技能、態度を修得する。

■ 学習到達目標

1. 事前学習に積極的に取り組むために、病院と薬局での薬剤師業務の概要と社会的使命を理解する。
2. 医療チームの一員として調剤を正確に実施できるようになるために、処方せん受付から服薬指導までの流れに関連する基本的知識、技能、態度を修得する。
3. 処方せん上の問題点が指摘できるようになるために、用法・用量、禁忌、相互作用などを含む調剤上注意すべき事項に関する基本的知識、技能、態度を修得する。
4. 病院・薬局における医薬品の管理と供給を正しく行うために、内服薬、注射剤などの取扱い、および院内製剤・薬局製剤に関する基本的知識と技能を修得する。
5. 薬剤師業務が人命にかかわる仕事であることを認識し、患者が被る危険を回避できるようになるために、医薬品の副作用、調剤上の危険因子とその対策、院内感染などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。
6. 患者の安全確保と QOL 向上に貢献できるようになるために、服薬指導などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。
7. 病院実務実習、薬局実務実習に先立って大学内で行った事前学習の効果を高めるために、調剤および服薬指導などの薬剤師職務を総合的に実習する。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：事前実務実習・実習書の該当部分に事前に目を通しておくこと。

復習：実習及び指導を受けた内容を振り返り確認すること。不明箇所は指導教員に質問すること。

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	事前実習	事前学習を始めるに当たって 事前実習	S101～107
2	//	処方箋と調剤	S201～211
3	//	疑義照会	S301～306
4	//	医薬品の管理と供給	S401～414
5	//	リスクマネジメント	S501～507
6	//	服薬指導と患者情報	S601～606
7	//	事前学習のまとめ	S701

■ 授業分担者

越前（前期責任者）、伊東（後期責任者）、石橋（賢）、岸野、庄司、古澤、池上、植沢、大野、門田、菅野、花田、佐野、松本、宮沢、山崎、小川（竜）、田中、小関、斎坂、高橋（雅）、山田（聖）

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

レポート等による事前学習状況、実習中の態度、出席状況、技能検査の成績、ルーブリック評価等を基に総合的に判定する。

■ 参考書

- 『実務実習事前学習テキスト』 土屋 編集（ネオメディカル）
『グラフィックガイド 薬剤師の技能 理論まるごと実践へ』 高田 編集（京都廣川書店）
『治療薬マニュアル』 高久、矢崎 監修（医学書院）
『今日の治療薬』 浦部、島田、川合 編集（南江堂）